

原木自動選別機稼働!! 久万市場

昨年末より工事を進めておりました市場の原木自動選別機は今年3月中旬に完成し、順調に稼働しております。

選別精度
選別能力
スピード
アップ!!



本機は旧来型に比べて自動読み取り装置の精度が格段に向上しました。CCDカメラとレーザーによって丸太の形状を輪切り状にコンピュータ解析し、長さ、径級、直・曲がり別に選別します。このため一定の選別基準が確立され、選別の均一化が可能となりました。

また、今まで32か所だった選別ゲート数が46か所へと増えたため、投入可能な丸太の最大径は、今までの22cmから50cmまでと幅広くなりました。

さらに、取扱本数も15%程度改善されたことにより、選別量も増加を図ることができます。

今後さらなる高林齢級化が進んでいく中、市場への出荷原木も益々大径化が加速してまいります。この様な先を見据えて更新した選別機を活用し、



組合員の皆様が大切に育ててきた木を、少しでも高く販売する努力をしておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

JAS認定工場になりました 久万事業所

平成22年度に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が制定されたことにより、国又は地方公共団体が整備する公共の用又は公用に供する建築物や、それに準ずる学校、老人ホーム等の建築物は木造にすることが定められました。

「木造とは、構造耐力上主要な部分である壁・柱・梁・桁・小屋組等に木材を利用すること」となっていることから、国産材の利用増大が期待されています。

また、国土交通省が制定・発表した木造計画・設計基準では、「製材の品質に関して一定の品質を確保するという観点から、製材品を用いる場合は原則として製材のJASに適合する木材を使用すること」と明記されています。



JAS認定Bタイプ 人工乾燥構造用製材・機械等級区分構造用製材

そこで、当組合では製材品の品質の確保を図るために、久万事業所では水分計及びグレーディングマシンを整備してJAS認定を受けました。

今後は、信頼の証である製材のJAS認定製品をアピールして販売力の強化に努めて参ります。



グレーディングマシンのライン

- 大城山の天然林 (表紙写真と同場所) -

大城山は標高1,200~1,400mで大川嶺連峰の東の端に位置し、今でも手付かずの原生林が残されている。モミやブナの巨木が森を成しており、有名な猪伏山(四国カルスト)の天然林ならではの極性相を思わせる風格には及ばないものの、それぞれの木々は樹高が高く幹はまっすぐで、成長する力強さを感じさせる森である。

同じ大川嶺連峰でも、茗荷谷川上流部の原生林には県道が通っており訪れる人も多いが、大城山は尾根ひとつ隔てており、どの道路からも見えにくい位置にあり山道も少ないため、人目に触れにくい天然林である。

林業の世界では『適地適木』という言葉古された鉄則があるが、この辺りの厳しい自然環境の中でたくましくそびえ立つ木々を見ると、森林林業に携わる者として、改めて天然林のすごさに敬服した。

